

普及現地情報

発信年月日:令和8年(2026年)7月1日
所属名:東近江農産普及課
番号:D26003
発信者名:寺園、新谷、山本、白井 他



「大豆栽培技術研修会」を開催！

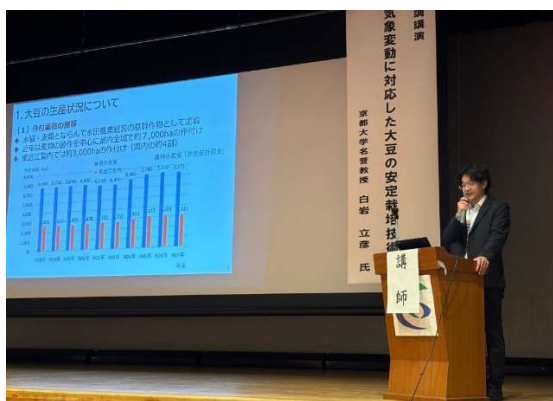
大豆の収量向上・品質改善に向けて、5月19日に東近江地域の大豆生産者を対象に、東近江地域農業センターと連携し、「大豆栽培技術研修会」を開催しました。関係機関を含め87名の参加があり、今後の品質・収量向上への栽培技術研修会を実施しました。

管内の令和7年産大豆の平均単収は、102kg/10a(全国平均 181kg/10a)と低く、改善が求められています。

研修会では、当課から近年の気象と生育状況、収量品質低下の要因である難防除雑草とカメムシ類・ハスモンヨトウの害虫対策について重要性を説明しました。

また京都大学名誉教授の白岩立彦氏から、「気候変動に対応した大豆の安定栽培技術」をテーマに講演いただきました。大豆の基本特性や、気候変動などの環境ストレスに対する解説から、排水対策、品種の選択、作期の見直し等の環境ストレスを避ける栽培技術の重要性について分かりやすく説明され、生産者の栽培意識の向上につながる有意義な研修会となりました。

大豆の安定生産に向けて、今後も当課は関係機関と連携して生産者を支援していきます。



当課からの情報提供



研修会の様子